

今年もへき地医療体験実習・研修会を開催しました！

1) 三重県へき地医療体験実習（平成26年8月20日～8月23日）

三重県へき地医療支援機構は、へき地医療に興味を持つ医学生を対象にへき地医療を体験していただく実習を毎年行っています。今年も三重県内の7地域8医療機関(神島診療所、桃取診療所、紀南病院、志摩病院・志摩地域医療福祉センター、尾鷲総合病院、南伊勢病院、報徳病院)にご協力いただき、8月20日から8月23日にへき地医療体験実習を開催しました。体験実習には三重大学、自治医科大学、高知大学、大阪医科大学の医学生18名が参加しました。

実習協力機関の皆様のご協力のおかげで参加医学生の皆さんからは、都会では学べない貴重な経験ができた、(実習地域を)初めて訪れて地域の特徴を理解できた等の意見が寄せられ、非常に好評でした。



2) 三重県へき地医療研修会（平成26年8月23日～8月24日）

へき地医療体験実習に引き続き、大台町にある宮川林業総合センターにて平成26年度三重県へき地医療研修会を開催しました。へき地医療研修会はへき地医療を支える皆様の交流、情報発信の場として、平成15年から毎年行われており、本年度で12回目を迎えました。

今年度も三重県のへき地医療に関わる医療関係者、行政関係者、医学生、住民の皆様にご参加いただき、1日目84名、2日目45名とたくさんの方々にご参加いただきました。体験実習参加医学生による「体験実習報告会」、研修会参加者全員による「ワールドカフェ」、名田庄診療所の中村先生による特別講演「地域に寄り添い 20年」を行いました。へき地医療に熱い思いをお持ちの皆様のおかげで、活発な意見交換が行われ、盛大な研修会となりました。

来年度も8月下旬に体験実習、研修会を予定しております。皆様のご参加をお待ちしております。



※体験実習、研修会の詳細はへき地医療支援機構のホームページ(<http://www.pref.mie.lg.jp/IRYOS/HP/hekiti/>)でも掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

平成26年4月に三重県へき地医療支援機構 専任担当官が交代しました。

・退任の挨拶(平成25年4月～平成26年3月)

古田範子医師の後任を受け、平成25年度三重県へき地医療支援機構専任担当官を担当させていただきました野口正満と申します。1年間という短い間ではございましたが、専任担当官を通して病院勤務医とは違った側面・様々な視点で医療、医師確保対策に取り組ませていただきました。平成26年4月からは町立南伊勢病院内科に赴任させていただいております。専任担当官での学びを活かし、三重県のへき地医療に日々取り組んでまいりたいと思います。ご指導いただきました多くの皆様方、誠にありがとうございました。

野口 正満 (Noguchi Masamitsu)

・新任の挨拶(平成26年4月～)

野口正満先生の後任として専任担当官を拝命いたしました瀬口優(セグチマサル)と申します。自治医科大学を卒業後、済生会松阪総合病院で初期研修を終え、紀南病院など三重県のへき地で内科医として勤務してまいりました。今年度は県庁という現場からは一步離れた場所からになりますが、へき地医療に携わる皆様のサポート、へき地医療に関する情報発信等をさせていただきたいと思っています。至らない点等多々あるかと存じますが、ご指導、ご鞭撻のほどをよろしくお願い申し上げます。

瀬口 優 (Seguchi Masaru)

【三重県へき地医療支援機構】

国のへき地保健医療対策に基づき、平成15年度より三重県健康福祉部に設置されました。へき地医療での勤務経験のある医師が専任担当官として配置されています。

【発行元】 三重県へき地医療支援機構

(健康福祉部医療対策局地域医療推進課)

電話 059-224-2326